



福島県南相馬市立原町第二中学校 学校だより第10号 令和3年6月11日(金)  
発行者:校長 和田節子 TEL (0244)22-4188 E-mail: haramachi2-j@fcs.ed.jp

# からくさ



【教育目標】 自律 探究 協働

【重点目標】 目的意識を持ち、自ら発案し行動する生徒

## 検定試験のススメ

5月28日(金)に第1回の英語検定試験が行われました。それに続き今日は漢字検定、明日は数学検定です。受検者はそれぞれ、11人、15人、5人。ちょっと寂しい数字です。ちなみに昨年度の調査では、英検を受験したことのある本校生は38.8%で、市内の平均を約8ポイント下回っています。

全国に目を向けてみましょう。令和元年度の「英語教育実施状況調査(中学3年生対象)」によると、英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合は全国で44%。本県は37.3%です。順位を付けるなら全国35位です。最高は福井県の61.4%でした。

検定試験のメリットは、なんと言っても「合格するために勉強するようになる」ことです。昨年度の卒業生の中には中学2年の時に英検2級(高校卒業程度)を取得した生徒がいました。「合格」が動機付けとなって上位の級にどんどんチャレンジし、自分の力を伸ばしていきました。

資格を持つことは自分の強みにもなります。本校では、高校受験の際の調査書に、検定試験の取得級を記載しています。最近では大学入試でも英検などの外部検定試験が活用されています。2020年入試では、推薦・AOで352大学、一般入試で199大学が外部検定試験を取り入れました(旺文社調べ)。出願資格として使ったり、入試の総合点に加点したり、合格判定の際に優遇したり…。また、合格・不合格にかかわらず、英検のスコアを入試に活用する大学もあります。早稲田大学文化

構想学部や明治大学経営学部などでは、基準スコアを満たしていれば英語の試験が免除されます。

南相馬市では中学3年生の英検受検料を一人1回分補助しています。こうした制度を活用し、どんどんチャレンジしましょう。早め早めに受けることがポイントです。力を付けてから受けるのではなく、受けることによって力を付けるのです。今年度中に1回は受検することをお勧めします。

月	日	曜	検 定
5	28	金	第1回英語検定
6	11	金	第1回漢字検定
6	12	土	第1回数学検定
7	10	土	第2回数学検定
8	28	土	第3回数学検定
10	1	金	第2回英語検定
10	16	土	第4回数学検定
11	12	金	第5回数学検定
1	14	金	第2回漢字検定 第3回英語検定
1	29	土	第6回数学検定

そう言えば、1年生が総合の時間に「報徳仕法検定」なるものを行ってました。とてもよい試みですね。

